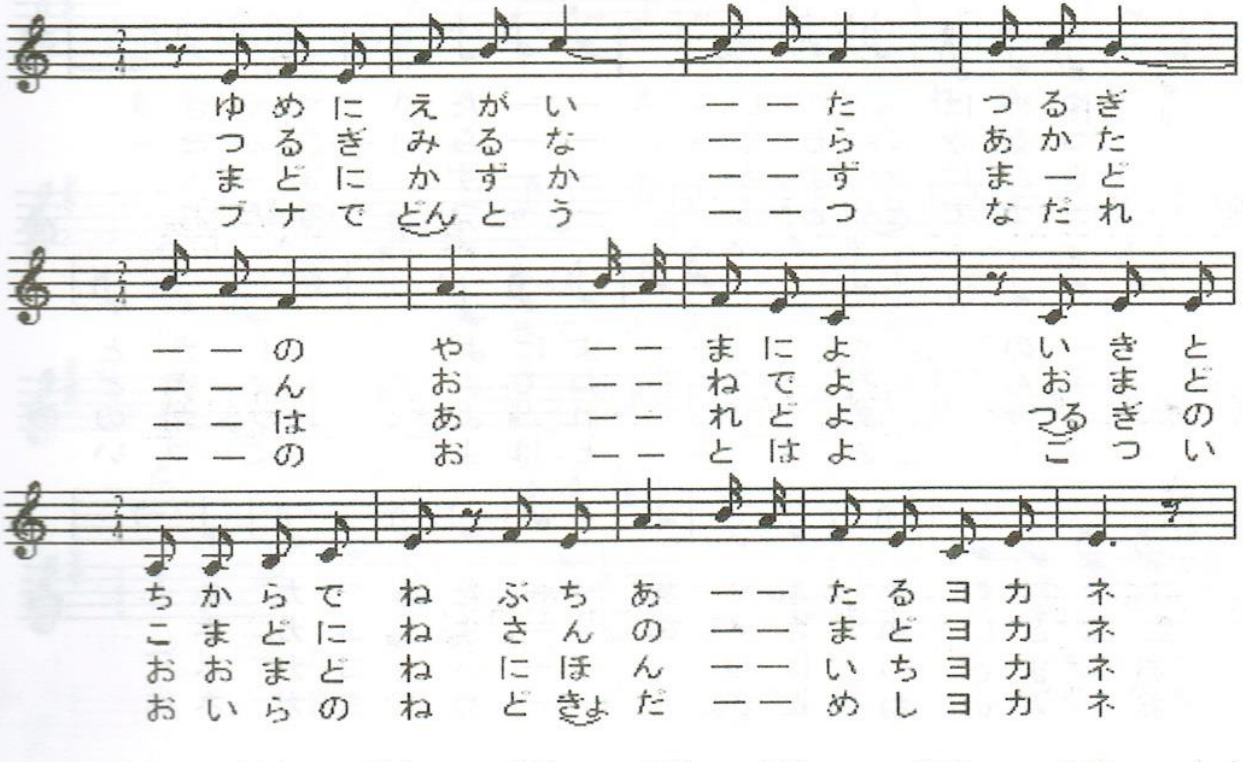
剣の歌

―早大山岳部歌―

♩＝96

作詞　飯田忠紀
作曲　不詳



（一）夢に描いた　剣の山によ
意気と力でね　ぶち当たるヨカネ

（二）剣見るなら赤谷尾根でよ
大窓小窓にね　三の窓ヨカネ

（三）窓に数々　窓はあれど
剣の大窓ね　日本一ヨカネ

（四）ブナでドンとうつ　雪崩の音はよ
ごついおいらのね　度胸だめしヨカネ

（五）窓を開ければ　富山町がよ
暗い夜空にね　薄明かりヨカネ

（六）ザイル結んで　氷の尾根でよ
仰ぐ剣のね　薄化粧ヨカネ

（七）遥かに見下ろす　池ノ谷のよ
暗いゴルジュのね　蒼氷ヨカネ

（八）どうだ見てくれ　俺らの焼けたよ
山の男のね　色香りヨカネ

（九）ひげを伸ばして　伊折へ下りやよ
俺らを待ってるね　獅子舞がヨカネ

いいぞいいぞとおだてられ
[illegible]